



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月12日

東・名

上場会社名 ICDAホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 3184 URL <https://www.icda.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)向井 弘光
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)服部 宝 (TEL) 059-381-5540
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	7,289	8.1	385	△4.8	401	△2.3	259	△1.9
2022年3月期第1四半期	6,745	18.4	405	72.2	410	72.7	264	64.7

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 263百万円 (△7.0%) 2022年3月期第1四半期 283百万円 (64.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	123.44	—
2022年3月期第1四半期	125.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	14,987	7,862	50.7
2022年3月期	15,253	7,709	48.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 7,601百万円 2022年3月期 7,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,703	△5.7	422	△47.6	425	△47.6	271	△48.4	129.23
通期	28,100	△1.2	1,173	△23.9	1,180	△24.4	777	△20.4	370.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	2,100,000株	2022年3月期	2,100,000株
2023年3月期1Q	207株	2022年3月期	207株
2023年3月期1Q	2,099,793株	2022年3月期1Q	2,099,793株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主要エリアである三重県下において、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が一時減少し経済活動も回復傾向となりましたが、再度大幅に増加しており経済活動の鈍化が懸念されております。

当社グループにおいては、従来より実施している既存顧客に対するフォロー活動の更なる強化を図ることにより、既存顧客からの受注は堅調に推移しております。しかしながら、世界規模の半導体不足や、ロシアのウクライナ侵攻、中国上海のロックダウン等による、商品(車両及び部品等)の供給遅れ又は出荷停止等による業績に与える影響が懸念されております。

これらの結果、売上高は72億89百万円と前年同期と比べ5億43百万円(8.1%)の増収、営業利益は3億85百万円と前年同期と比べ19百万円(4.8%)の減益、経常利益は4億1百万円と前年同期と比べ9百万円(2.3%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億59百万円と前年同期と比べ4百万円(1.9%)の減益となりました。

① 売上高及び営業利益

売上高は72億89百万円と前年同期と比べ5億43百万円(8.1%)の増収、営業利益は3億85百万円と前年同期と比べ19百万円(4.8%)の減益となりました。セグメント毎の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

(自動車販売関連事業)

当セグメントにおきましては、国産新車販売は、新型コロナウイルス感染症による中国上海のロックダウンの影響を受け、一部商品の供給停止が発生しましたが、前連結会計年度末に入庫した在庫車両の販売により減少幅を抑えることで、国産新車販売台数は前年同期比1.7%減の1,148台となりました。輸入車においては、ロシアのウクライナ侵攻により、近隣国等サプライチェーンの稼働停止の影響により、商品入庫の回復見込みが不透明な状況が続いており、輸入車販売台数は前年同期比3.8%減の101台となりました。これらの結果、新車販売台数は前年同期比1.9%減の1,249台となりました。

中古車販売については、既存顧客からの受注が堅調に推移しておりますが、新車販売店舗における新車商品の供給遅れ等が長期化する見込みのため中古車販売を強化しております。さらに、中古車オークション相場の価格高騰の影響を受け、卸売(業販)が増加したことにより、中古車販売台数は前年同期比3.7%増の2,624台となりました。

これらの結果、売上高は69億66百万円と前年同期と比べ5億17百万円(8.0%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は3億94百万円と前年同期と比べ16百万円(4.5%)の増益となりました。

(自動車リサイクル事業)

当セグメントにおきましては、生産台数(再資源化処理)は前年同期比4.1%減の2,388台となり、使用済自動車の入庫は、前年同期比14.4%増の2,206台となりました。売上高は、鉄及びアルミ並びに希少希土類(レアアース・レアメタル)等の資源相場が上昇した状況が継続しているため資源関連売上が大幅に増加し、輸出関連売上についても回復傾向となっております。しかし、売上原価は、全国的な新車販売台数減少の影響等による中古車オークション相場の価格高騰により、大幅に増加いたしました。

これらの結果、売上高は3億23百万円と前年同期と比べ26百万円(8.8%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は50百万円と前年同期と比べ38百万円(43.0%)の減益となりました。

② 経常利益

営業外損益については、営業外収益は増加し、支払利息の減少等により営業外費用は減少いたしましたが、営業利益は減少いたしました。これらの結果、経常利益は4億1百万円と前年同期と比べ9百万円(2.3%)の減益となりました。

③ 親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益については、経常利益の減少及び伊勢地区新店舗建設による既存設備の解体費用の計上により、税金等調整前四半期純利益は3億92百万円と前年同期と比べて18百万円(4.5%)の減益となり、法人税等(法人税等調整額を含む)は1億22百万円となりました。これらの結果、当第1四半期連結結果計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は2億59百万円と前年同期と比べ4百万円(1.9%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より2億66百万円減少し、149億87百万円となりました。これは主に、商品及び製品の減少3億7百万円、減価償却等による有形固定資産の減少36百万円、現金及び預金の増加43百万円等によるものであります。

② 負債の部

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より4億19百万円減少し、71億25百万円となりました。これは主に、借入金の減少4億18百万円、未払法人税等の減少1億82百万円等によるものであります。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より1億52百万円増加し、78億62百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上2億59百万円、配当金の支払1億4百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通り推移していることから、2022年5月13日公表の連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	776,208	819,335
受取手形及び売掛金	421,373	412,982
商品及び製品	3,408,120	3,100,647
仕掛品	4,514	6,257
原材料及び貯蔵品	72,203	74,140
その他	234,650	273,126
貸倒引当金	△156	△165
流動資産合計	4,916,915	4,686,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,459,094	2,413,946
土地	5,535,455	5,535,455
その他（純額）	1,224,124	1,232,443
有形固定資産合計	9,218,674	9,181,845
無形固定資産	44,069	41,985
投資その他の資産	1,074,197	1,077,420
固定資産合計	10,336,941	10,301,251
資産合計	15,253,856	14,987,577

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,702,330	1,677,036
短期借入金	2,105,980	1,705,980
未払法人税等	323,130	140,146
前受金	1,482,295	1,460,638
賞与引当金	156,925	81,360
その他	435,595	736,088
流動負債合計	6,206,258	5,801,249
固定負債		
長期借入金	195,120	176,625
役員退職慰労引当金	311,973	314,633
退職給付に係る負債	758,092	761,281
その他	72,979	71,574
固定負債合計	1,338,165	1,324,114
負債合計	7,544,423	7,125,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,078	1,161,078
資本剰余金	1,148,992	1,148,992
利益剰余金	5,103,921	5,258,136
自己株式	△378	△378
株主資本合計	7,413,613	7,567,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,988	8,447
退職給付に係る調整累計額	25,034	24,780
その他の包括利益累計額合計	39,022	33,228
非支配株主持分	256,796	261,155
純資産合計	7,709,432	7,862,212
負債純資産合計	15,253,856	14,987,577

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	6,745,925	7,289,732
売上原価	5,332,130	5,842,658
売上総利益	1,413,795	1,447,074
販売費及び一般管理費	1,008,278	1,061,107
営業利益	405,516	385,966
営業外収益		
受取配当金	4,637	5,203
受取賃貸料	2,850	2,850
受取保険金	1,710	10,586
その他	2,832	1,528
営業外収益合計	12,029	20,167
営業外費用		
支払利息	4,719	3,541
支払手数料	1,135	769
その他	1,094	466
営業外費用合計	6,949	4,777
経常利益	410,596	401,356
特別損失		
固定資産除却損	—	9,330
特別損失合計	—	9,330
税金等調整前四半期純利益	410,596	392,026
法人税、住民税及び事業税	130,676	128,521
法人税等調整額	△2,144	△5,672
法人税等合計	128,532	122,848
四半期純利益	282,064	269,177
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,964	9,972
親会社株主に帰属する四半期純利益	264,100	259,204

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	282,064	269,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	842	△5,540
退職給付に係る調整額	344	△177
その他の包括利益合計	1,187	△5,718
四半期包括利益	283,251	263,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	265,223	253,410
非支配株主に係る四半期包括利益	18,027	10,048

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,448,437	297,487	6,745,925	—	6,745,925
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,549	4,891	6,440	△6,440	—
計	6,449,986	302,378	6,752,365	△6,440	6,745,925
セグメント利益	377,646	89,377	467,023	△61,506	405,516

(注) 1. セグメント利益の調整額△61,506千円には、セグメント間取引消去541千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△62,048千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,966,159	323,572	7,289,732	—	7,289,732
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,219	7,757	11,976	△11,976	—
計	6,970,379	331,329	7,301,709	△11,976	7,289,732
セグメント利益	394,513	50,934	445,447	△59,480	385,966

(注) 1. セグメント利益の調整額△59,480千円には、セグメント間取引消去△738千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△58,742千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。